

## 人口ビジョンの改訂について

2016年3月に策定した人口ビジョンについて、2024年6月時点での人口の見通しの傾向が策定時における推計と大きく乖離していないことから、基本的に策定時の推計方法を踏襲し、最新の数値等を踏まえた修正を行います。なお、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の改訂の見通しが示されていないことから、神奈川県人口ビジョン（県人口ビジョンは本市と同様に2024年度末に改訂予定。）を踏まえることとし、対象期間も県に合わせて2070年までとします。

### 1. 人口の現状分析

改訂作業の概要	最新のデータにより文章及び図表を時点修正
改訂内容のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然増減：自然減の状態が続いており、出生数と死亡数の差は年々拡大傾向にある。直近の出生数は277人（2023年）、死亡数は808人（2023年）、合計特殊出生率は1.46（2021年）。</li> <li>・社会増減：2011年、2012年及び2018年を除き、社会増となっている。</li> <li>・近隣市町や東京都特別区部からの転入超過が多い傾向が続いている。</li> </ul>

### 2. 将来人口

改訂作業の概要	最新のデータにより文章及び図表を時点修正
改訂内容のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来人口の推計：転入超過の状況等により現行の人口ビジョンの推計より上振れするものの、今後も減少傾向の見込みである。 （2045年50,004人、2060年45,979人、2070年42,476人）</li> <li>参考 現行の人口ビジョンにおける将来人口の推計 （2045年45,223人、2060年37,590人）</li> <li>※将来人口は、国立社会保障・人口問題研究所が2020年までの実績をもとに、2020年10月1日現在の総人口を基準人口として、2021年から2070年まで推計したものの。</li> </ul>

### 3. 人口の将来展望

改訂作業の概要	<p>1. めざすべき将来の方向 ⇒最新のデータにより文章を時点修正し一部追記</p> <p>2. 人口の将来展望 ⇒最新のデータにより文章及び図表を時点修正</p>
改訂内容のポイント	<p>1. 人口減少社会に対する基本方針に係る社会増を図る方法について、県や近隣市町と連携、協力して取り組みを進めることを記載。</p> <p>2.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来展望人口：2060年 50,043人、2070年 49,051人 (施策効果がない場合：2060年 45,979人、2070年 42,476人)</li> <li>参考 現行の人口ビジョンにおける展望人口：2060年 46,495人</li> <li>・将来展望人口の推計条件             <ul style="list-style-type: none"> <li>①合計特殊出生率の仮定 県人口ビジョンにおいて2065年に人口置換水準である2.07程度まで上昇すると示されていることを踏まえ、本市も同様に2065年の合計特殊出生率を2.07と仮定し、それまでの間一定の割合で上昇していくものと想定。 参考 現行の人口ビジョンでは、2050年に2.07まで上昇していくものと仮定。</li> <li>②社会動態（移動）の仮定 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」の仮定を準用。併せて、2025年以降の各年齢階級の純移動数が3%増加（マイナスの場合は3%減少）するものと仮定。 参考 現行の人口ビジョンでは、純移動数が5%増加（マイナスの場合は5%減少）するものと仮定。</li> </ul> </li> </ul>